

献血キャンペーンについて

現在、献血者の約6割は30歳代までの方であり、若い世代が中心となって血液の需要が支えられています。少子高齢化の進展により、若い世代が減少する一方で血液製剤の約8割を使用する高齢者世代が増加することで、今後、血液の需給が逼迫することが予想されます。

このため、広く国民各層に献血の考え方をご理解いただき、献血にご協力いただくことが必要のため、年に2回献血キャンペーンを行っています。

また、キャンペーン期間中は、全国各地域において、地域や学生のボランティア団体等の協力をいただいて、さまざまな献血イベントが開催され、献血への呼びかけを積極的に行っています。

7月は「愛の血液 助け合い運動」

7月の1か月間を「愛の血液助け合い運動」月間として、重点的に献血への協力の呼びかけを行っています。また、期間中には「献血運動推進全国大会」を開催し、長年、献血運動に協力いただいた方々の表彰や体験発表等を行います。

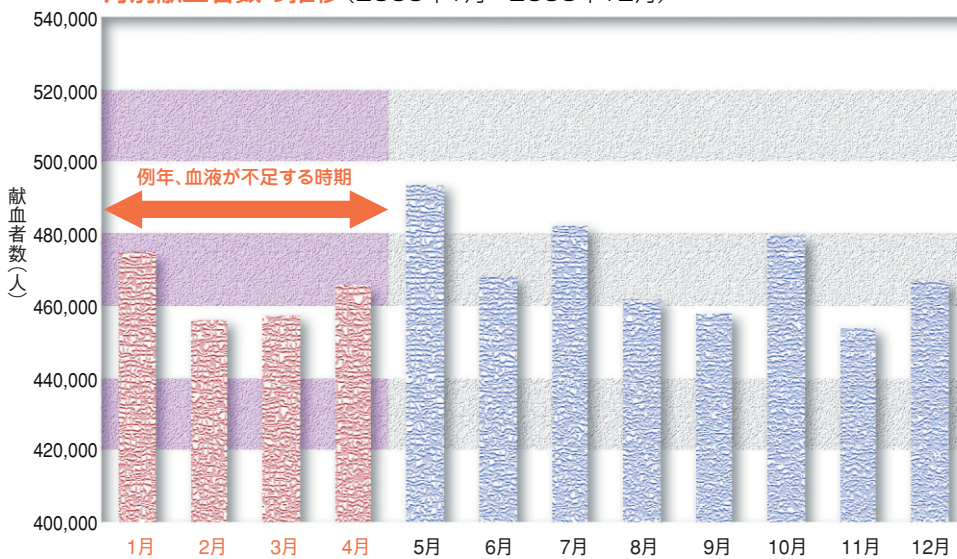
1月～2月は「はたちの献血」キャンペーン

若い世代の方々により一層献血へ協力していただくために、成人式を迎える二十歳の若者を

中心に、献血への理解と協力を訴える「はたちの献血」キャンペーンを1月から2月の期間において実施します。

特に冬場は、風邪などで体調を崩す人が多くなるなど献血者が減少する時期であり、長期保存の出来ない輸血用血液の不足にもつながります。

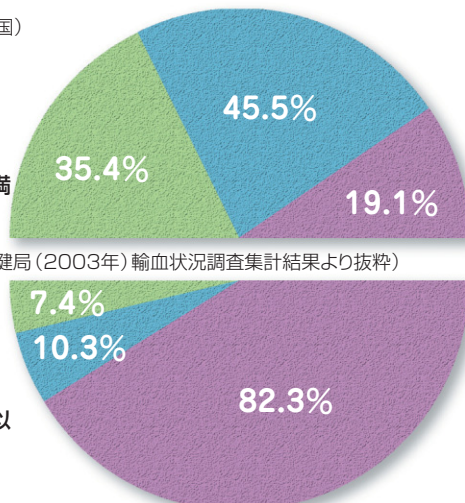
月別献血者数の推移 (2003年1月～2003年12月)



年代別献血状況 (2003年 全国)

- 16～29歳
- 30～49歳
- 50歳以上

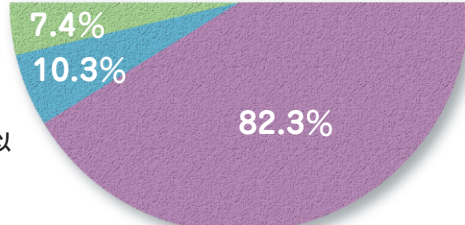
献血者数の約80%は50歳未満の方々に支えられています。



年代別輸血状況 (東京都福祉保健局 (2003年) 輸血状況調査集計結果より抜粋)

- 0～29歳
- 30～49歳
- 50歳以上

輸血用血液の約82%は50歳以上の方々に使用されています。



将来推計人口比 (国立社会保障・人口問題研究所調べ)

